

本文と合わない文をえらぼう

小5／本文を読んで、合わない（まちがった）文を1つ選びましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 森林のはたらきを よんで、本文と合わない文を1つ選びましょう。

森林は雨水をたくわえ、少しずつ川へ流します。そのため大雨のときも川があふれにくくなります。木の根は土をつかみ、山くずれを防ぎます。また、二酸化炭素を吸収して空気をきれいに保ちます。

- 1 森林は雨水をたくわえる。
- 2 森林があると大雨で川があふれやすい。
- 3 木の根は山くずれを防ぐ。
- 4 二酸化炭素を吸収する。

2 太陽光発電を よんで、本文と合わない文を1つ選びましょう。

太陽光発電は、光を太陽電池に当てて電気をつくります。燃料をもやさないため、二酸化炭素をほとんど出しません。ただし、夜や天気の良い日は発電できません。設置には広い場所が必要です。

- 1 光を当てて電気をつくる。
- 2 夜は発電できない。
- 3 二酸化炭素を多く出す。
- 4 設置には広い場所がある。

3 米づくりの一年を よんで、本文と合わない文を1つ選びましょう。

米づくりは、春に田を耕して田植えをします。夏は水の管理や雑草とりで世話を続けます。秋に稲かりをします。近年は機械で作業が楽になりましたが、天候の影響は今も受けます。

- 1 田植えは春に行う。
- 2 秋に稲かりをする。
- 3 夏は世話をせず放っておく。
- 4 今も天候の影響を受ける。

4 情報とのつきあい方を よんで、本文と合わない文を1つ選びましょう。

インターネットを使えば、世界中の情報をすぐに手に入れます。しかし、その中には正しくない情報もまじっています。だからこそ、確かめる姿勢が大切です。今では多くの人利用しています。

- 1 すぐに情報を手に入られる。
- 2 正しくない情報はまじっていない。
- 3 確かめる姿勢が大切である。
- 4 多くの人利用している。

本文と合わない文をえらぼう

小5／本文を読んで、合わない（まちがった）文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 水を大切にを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

じゃ口をひねればいつでも水が出るので、水はいくらでもあると思います。しかし、きれいな水を使えるようにするには多くの手間と費用がかかります。水は限りある資源です。むだづかいをしない心がけが求められます。

- 1 きれいな水には手間と費用がかかる。
- 2 水は限りある資源である。
- 3 むだづかいをしない心がけが必要。
- 4 水はいくらでもあるので気にしなくてよい。

2 こん虫の冬ごしを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

こん虫は、まわりの温度によって体温が変わります。そのため寒い冬は活動できず、それぞれのすがたで冬をこします。カマキリはたまごで、テントウムシは成虫で冬をこします。春になると再び活動を始めます。

- 1 温度によって体温が変わる。
- 2 冬でも活発に活動する。
- 3 種類によって冬のこし方がちがう。
- 4 春に再び活動を始める。

3 天気予報のしくみを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

天気予報は、あてずっぽうで出されているわけではありません。各地の気温や気圧、風などのデータを集め、コンピューターで計算して予想します。科学的な観測が予報を支えています。それでも、外れることもあります。

- 1 データを集めて予想する。
- 2 コンピューターで計算する。
- 3 天気予報はあてずっぽうである。
- 4 外れることもある。

4 外来種の問題を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

外来種とは、もともとその土地にいなかった生き物が、人の手で持ちこまれたものです。外来種は、もともたいた生き物のえさや住みかをうばうことがあります。そのため自然のつり合いがくずれることがあります。生き物を勝手に放してはいけません。

- 1 外来種は元々その土地にいなかった。
- 2 外来種はもとの生き物を助ける。
- 3 自然のつり合いがくずれることがある。
- 4 生き物を勝手に放してはいけない。

本文と合わない文をえらぼう

小5／本文を読んで、合わない（まちがった）文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 リサイクルの意味を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

使い終わったびんやかん、ペットボトルは、分けて出せば新しい製品に生まれ変わります。これをリサイクルといいます。リサイクルはごみをへらし、限りある資源を守ることにつながります。分別は一人ひとりの協力が必要です。

1 分けて出すと新しい製品に生まれ変わる。

2 リサイクルはごみをへらす。

3 分けても生まれ変わらない。

4 分別には協力が必要である。

2 川がつくる地形を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

川は、上流では急な流れで岩をけずり、深い谷をつくります。中流ではけずった土や石を運びます。流れがゆるやかな下流では、運んだ土や砂を積もらせて平地をつくります。長い年月をかけて地形を変えていきます。

1 上流では谷をつくる。

2 下流では平地をつくる。

3 下流で岩を深くけずる。

4 長い年月をかけて地形を変える。

3 食料と輸入を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

日本は多くの食料を外国からの輸入にたよっています。輸入のおかげで一年中さまざまな食べ物を口にできます。しかし、輸入が止まれば食たくはさびしくなります。だから国内でつくる力を保つことも大切です。

1 日本は食料を輸入にたよっている。

2 輸入で一年中さまざまな食べ物が食べられる。

3 国内でつくる力は必要ない。

4 輸入が止まると食たくがさびしくなる。

4 生き物のつながりを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

自然の中では、植物を草食動物が食べ、その草食動物を肉食動物が食べます。この関係が鎖のようにつながっています。一つの種がへると、他の生き物も影響を受けます。生き物はたがいに支え合って生きています。

1 草食動物は植物を食べる。

2 肉食動物は草食動物を食べる。

3 一つの種がへっても影響はない。

4 生き物はたがいに支え合っている。